



地域なんでも情報局

第15号

平成26年6月17日発行

長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号

TEL: 828-1281



日頃、見慣れた道端の緑の花壇が、きれいに雑草も抜かれ、季節折々の花が咲いているそんな散歩道を歩いていると、季節を感じ嬉しくなります。仕事で疲れた心もその花々に励まされ、癒されて元気をもらえます。今回は、そんな花壇の手入れをしてくださっている大浦中学校区の方々を紹介したいと思います。この「花いっぱい運動」のきっかけは、建設業を営む平山和則さん（51歳）が、3年前の冬、「小学校に通う子ども達が、大浦中学校を巣立つ頃には、学校周辺をきれいにしておきたい」との思いから始められたそうです。平山さんは現在、大浦中学校PTA会長もされているそうで、この運動を地道に、続けられておられます。この「花いっぱい運動」を地域に広げたいとの思いで、地域の方々にも声をかけました。次に花卉や球根を集め、土を作り、そして苗を植える一つ一つの作業の準備を整えます。そして、子ども達にも声をかけ、ご自身が拾ってき

花いっぱい！ 花でつながる地域の輪



ご苦労様です

た流木に子ども達みんなで、子供の名前を書き込んで、花の傍に添えます。そんな子ども達の思い出づくりを続けてこられていいます。作業が終わると、大人も子どももみんなで、お茶を飲みながら、会話の輪が広がり、まさに「花でつながる地域の輪」を大きく広げられています。この「花でつながる地域の輪」は、平成25年春には、椎の木1・2自治会、高丘第1・第2自治会にも広がり、さらに同年秋には、星取町、八景町、南が丘町にも大きく広がりました。平山さんから「しあわせ」との意味を込められた芝桜48株を総勢30名で植えました。その後、長崎市みどりの課からも菜の花の種、芝桜100株を頂き、南高校のテニスコートの手前には、菜の花の種をみんなで蒔きました。自然の花々が人の心を癒し、喜びを与えます。何気ない日常の中で花を眺めました。「花いっぱい運動」は「花でつながる地域の輪」になりました。大浦中学校区の皆さんの地域を愛する思いと日々の努力により、草木や花々はしっかりと根を下ろし、季節折々の花を咲かせ、実を実らせています。

日が沈むと、川沿いでチラチラと幻想的な光を放ちながらホタルの乱舞が始まり、「綺麗かね〜！」と歓声があがっています。ホタルの寿命は一週間ととても短いのですが、長崎市のホームページに「長崎市ホタルマップ」が掲載されています。是非一度ホタル鑑賞に出かけてみましょうか。

鑑賞の際は、カメラのフラッシュはやめてね！



お母さん、アし取って〜！

野菜釣りコーナー

式見
ホタルまつり
5月31日〜6月1日に、式見地区にて「ホタルまつり」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、地元をはじめ、市内各地から多くの親子連れが訪れていました。会場内には、綿菓子やヨーヨー釣りなどのコーナーが設けられ、中でも「野菜釣り」コーナーでは、子どもと一緒に竿を握るお父さん、お母さん方で賑わっていました。

「あー、なんね今日はマッサージ師さんの来とらすと？」、「マッサージはいくらすつとね？」と、食事会の会場である山里地区ふれあいセンターを訪れた高齢者の方々の様子。



評判も上々でした。写真からもその人柄がうかがえるように、原田さんは笑顔がとって素敵な方で、はじめて会った人から「何でいつもそんなニコニコしているの？」といつも羨ましがられるそうです。「取材に訪れた5月11日は、「母の日」ということもあり、まるで実の母親に接するかのよう優しい笑顔で高齢者の方々と接しておられました。原田さん、これからもそのひまわりのような笑顔と気持ちいいマッサージで多くの高齢者を癒して下さいね。



気持ち良さそうですね〜。

原田さんに長崎市に暮らして近所の皆さんがとても親切で、いつも声をかけてもらえて嬉しい！とおっしゃっていました。

南島原市出身の原田さんは、長崎市に住んで2ヶ月になるそうで、現在、就職活動の傍ら、毎月第2日曜日に行われている社協高尾支部の一人暮らし高齢者の食事会に参加されています。食事会のボランティアというと、一般的に調理ボランティアが思い浮かぶと思いますが、原田さんは、マッサージのボランティアとして参加されています。



原田芳美さん 高尾地区

幼少期から目の病気を患っていたという原田さんは、福岡県の専門学校でマッサージの勉強をし、資格取得後に長崎市に生まれ、就職活動中のある日、社協高尾支部の牧支部長と出会ったことが、食事会にボランティアとして関わることになった。近所のおばあちゃん達に可愛がられながら育ったこともあり、いつか高齢者のお役に立てることがしたいと思っていたそうで、マッサージをしながら高齢者の皆さんとお話ができることに喜びを感じているそうです。

みんなが笑顔 子育てサロン お遊び教室



長崎市内において、子育て支援活動の一つとして、乳幼児を持つ親子の集団遊びや母親同士の交流・育児相談を行う子育てサロン“お遊び教室”が、公民館やふれあいセンターなど34箇所、地域住民の方々の協力を得ながら毎月開催されています。滑石地区地区においは、社協滑石地区支部と滑石地区民生委員児童委員協議会の共催により、滑石地区ふれあいセンターにおいて、毎月第2・4火曜日の10時～11時30分の時間帯で開催しています。参加しているのは、滑石地区内に住んでいる親子だけではなく、周辺地域からも多くの親子が参加され、毎回50組以上、多いときは60組以上の親子が運動や手遊びなど



ママ抱っこして!

楽しく過ごせる場所であると同時に、私達お手伝いしている側にとっても、最初は抱っこすると泣き出して赤ちゃんと慣れるに苦労したことが、段々笑顔を見せてくれるようになったり、赤ちゃんだった子どもが、だんだん歩くようになって、運動や体操が出来るようになっていく成長の過程を間近に見ることが出来る喜びがあります。一とこのことでした。興味がある方は、お近くの「お遊び教室」を覗いて見てはいかがでしょう!

0歳のおともだちもたくさん来ます!



どで楽しく過ごして、中には1年間一度も休まず参加した親子も数組いたそうです。ここでは、運動や手遊びなどで楽しむ以外にも、ママ友になつて、メル交換などをする事で、子育ての悩みを相談し合ったり、同じ位のお子さんが持つ友人として関わりが始まったりと、お母さん同士の間作りにもなっています。運営に携わっている社協滑石地区支部の役員や滑石地区の民生委員の方々によると「ここは、お母さんや子ども達にとっても

た。メンバーは、地元の有識者、民生委員、公民館長、子ども役員、包括支援センター、地元NPO団体など、十数名で、毎月第3土曜日の夜に『白木地域力推進会議』(以下「推進会議」と銘打って、話し合いの場を持つこととなりまし



さあ、どんなことをしようか?

ある白木自治会では、3年前から、白木地区の有志が集まって地区を活性化するために、いろいろな活動やイベントを企画・立案して実施しています。もちろん白木地区にも自治会はありませんが、役員のなり手がいないなどといった事情もあり、通常の自治会活動で一杯のた

白木地域力推進会議



防災マップづくりの様子

議題に上った時、事前に地区の危険なところをみんなで知っておこう!という事になり、子ども会と自治会が一緒になつて、「防災マップづくり」を行い、地区の避難場所や、危険な場所がどこにあるかをみんなで確認しました。この他にも、年配の男性が交流をする場がないので、推進会議で、「白木きずなの会」という会を立ち上げ、公民館を月2回、夜に開放して、おしゃべりしたり、カラオケをしたりして、地区の絆を深めています。さらに、今年度からは、地元のNPO団体の若い職員さん(20代!)が、白木公民館で月1回開催している高齢者ふれあいサロンのお世話をすることが推進会議の中で決まり、若い世代も一緒になつて地区の交流の場づくりをしています。このように、白木地区では、自分たちのまちなことを自分たちで考えて良くしていこうと、それぞれが忙しい合間を縫って、「少しでも地区の役に立てるなら...」という思いのも

の4月に社協矢上支部として発足しました。そうして、まだ発足して1年ほどの支部ですが、今後の支部のあり方についての参考意見や、矢上地区の住民の声を聞いてみようという事で、支部の役員の方を中心準備を進めてきました。住民座談会当日、参加された方は、自治会長、民生委員、婦人防火クラブ、老人クラブ、交通安全協会、小学校PTA、子ども会、小学校、中学校、幼稚園、包括支援センターなどといった各団体からの代表の方たちでした。



矢上地区住民座談会開催

2回に渡って開催された住民座談会は、それぞれ数人ずつのグループに分かれて、グループワークを行い、1回目「は、矢上のいいところ」を話し合ってもらい、2回目「矢上の気になるところ」を話し合ってもらい、2回目「矢上の気になるところ」から解決したいものを選び、その解決策を話し合いました。日ごろから地区で活動をしていく方たちばかりですので、出てくる意見も多種多様で、中には「そんな解決の仕方があったか!」というような面白い意見もありました。参加した方からは、「みんなで考えないと、刺激されて普段は思いつかないアイデアが出てくるね」といった声も聞かれ、座談会効果が?と出ているようでした。最後に矢上地区のキヤッチフレーズをみんな考えてお開きとなりましたが、藤下矢上支部支部長が最後の挨拶で、「矢上地区はいろいろな地域があり、決して1枚岩とは言えないが、座談会でもこの地区を盛り上げていきたい!」と今後の意気込みを語っておられました。



矢上地区キヤッチフレーズ『シーボルトも通った、長崎街道歴史のまち矢上』

社協会員募集中!!

『地域なんでも情報局』は、市民の皆様からお寄せいただいた社協会費により発行しています。